



2023年12月21日

各位

会社名 旭情報サービス株式会社
代表者名 代表取締役社長 濱田 広徳
(コード番号 9799 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 宮下 勇人
財務経理部長
(TEL: 03-5224-8281)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状を評価・分析し、改善に向けた方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状評価

現状評価として、ROEは過去5年間(2019年3月期から2023年3月期)の平均で9.6%となっておりますが、直近では9.2%と低下傾向にあります。

PBRは過去5年間(2019年3月期から2023年3月期)の平均は0.98倍と1倍前後で推移しておりますが、直近では0.90倍の水準となっております。

いずれも同業他社と比較するとやや低い水準にあることから、成長戦略に関して株主や投資家の皆様の理解を十分に得ることが課題であると認識しております。

項目	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高(百万円)	11,313	12,055	12,282	12,971	13,860
営業利益(百万円)	1,054	1,178	1,210	1,248	1,312
経常利益(百万円)	1,063	1,188	1,234	1,265	1,345
当期純利益(百万円)	761	807	843	863	912
ROE(%)	9.8	9.8	9.7	9.3	9.2
1株当たり純資産(円)	1,026.35	1,086.76	1,161.23	1,234.07	1,308.39
期末株価(円)	1,060	1,008	1,233	1,190	1,177
PBR(倍)	1.03	0.93	1.06	0.96	0.90
配当性向(%)	36.7	37.5	36.4	38.7	36.6

2. 改善に向けた方針・目標

今回の現状評価を踏まえ、当社は「IT技術の進化に応じたスキルやサービスを追求し付加価値を向上すること」「株主や投資家の皆様から当社の成長性を適切に評価していただくこと」を基本的な方針とし、ROE10%、PBR1倍を上回る水準とすることを目標とします。

3. 改善に向けた具体的取り組み

(1) 収益基盤の強化

当社の更なる成長につなげるために、下記の取り組みをとおして、付加価値の高いDX関連ビジネスの拡大やIT技術の進化に応じた新しい事業を開拓し、収益基盤の強化を図って参ります。

- ① 将来のキャッシュ・フロー成長を支える人材・DX推進への継続的な投資
- ② 付加価値向上に向けた新たな事業戦略の検討・推進
- ③ M&Aや資本提携、業務提携の検討

(2) 安定的な株主還元の継続

当社は、業容・業績の拡大とともに安定的かつ継続的に株主還元を行うことを基本方針として、株主や投資家の皆様の利益の維持・拡大を図るべく努めて参りました。引き続き、中長期的に業容・業績の拡大を実現しながら、配当性向40%を目途に株主還元の充実を目指して参ります。

(3) IR活動の充実

当社の事業内容や成長戦略を理解していただくために、下記の取り組みをとおして、株主や投資家の皆様との対話や情報開示の充実を図り、適切な企業価値の評価とPBRの改善につなげて参ります。

- ① 機関投資家、個人投資家向けの決算説明会の実施
- ② 決算説明補足資料、中期経営計画の開示及び内容の充実
- ③ サステナビリティ情報や非財務情報発信の充実

以 上